

浅井野子ども会育成会が 県優良育成団体表彰 最優秀賞を受賞

6月7日、鹿児島県青少年育成県民会議が鹿児島市で行われ、柏原区高校生クラブ育成会が青少年育成県民会議会長表彰を受賞されました。

また、6月9日、鹿児島県子ども会育成連絡協議会定期総会が鹿児島市で行われ、白男川区の浅井野子ども会育成会が鹿児島県優良育成団体表彰を受賞されました。

これは、高校生クラブ、子ども会で長年にわたり実施してきた活動が青少年の健全育成に、そしてその地域の活性化に大きく貢献していることが高く評価されたものです。

表彰を受けた柏原区高校生クラブ育成会、浅井野子ども会育成会の皆さん、おめでとうございます。



子ども達の安全確保に 「こども110番の車」

出発!!

6月29日、「子ども110番の車」出発式が盈進小学校で行われました。これは、児童を対象とした凶悪犯罪が全国各地で多発していることから、業務で地域を運転している川薩電気工事工業協同組合宮之城支部の13業者の車両20台に「子ども110番の車」と書かれたステッカーを張り、非常時の子どもの安全確保に務めるものです。

学童疎開が縁 海・山交流に期待 中種子町との友好交流協定に調印

7月4日から5日にかけて、中種子町の川下三業町長をはじめ疎開経験者など19人の方々がさつま町を訪れ、友好交流に関する協定書に両町長・議長が調印を行いました。

これは、太平洋戦争の最中、昭和20年4月から約5か月間、中種子町からさつま町内各地に学童疎開が行われ、戦後60年という時の流れの中で学童疎開を契機として、お互いの町の訪問を行いながら旧交を温め交流を続けていきました。

両町は、これまでの交流を踏まえ、お互いの風土や地域性を尊重し、相互の理解と友情を深めながら、未永く友好交流を行っていきましょうというものです。

調印式では、両町長からこれまでの交流の経緯や、疎開経験を通しての想いなどが話されました。そして、町旗と記念品の交換を行い、町の概要などスライドを使って紹介されました。夜には交流会が行われ、疎開受入家族と再開し思い出など語り合いました。

今後、両町は友好交流協定に基づき、疎開交流・青少年交流・情報交換交流などを行っていきます。

